

※好評のため締め切ったH-1と同じ兵庫県立美術に立ち寄るコース

【神戸・淡路】

兵庫県立美術館の「具体」と建築を巡る



兵庫県立美術館

兵庫県内の代表的建築物である、世界的建築家の安藤忠雄氏設計の兵庫県立美術館と、三分一博志氏により設計された六甲枝垂れを見学するコース。美術館では同館コレクションの山村コレクションの特別展（世界的に評価が高まっている「具体」を中心とした展示）や、今年5月に増設されたAndo Galleryを見学。六甲枝垂れでは、標高888Mの六甲山から眼下に見下ろす神戸の町並みや大阪湾の風景は格別です。

行程

※行程は予告なしに変更することがあります

9:45（集合）	京都駅八条口 貸切バス乗降場	=====貸切バス=====
11:30 - 12:30	六甲枝垂れ 見学徒 歩.....
12:30 - 13:30	昼 食（※自己負担）	=====貸切バス=====
14:15 - 16:15	兵庫県立美術館 [集めた！日本の前衛—山村太郎の眼 山村コレクション展] 見学	=====貸切バス=====
17:45（解散）	京都駅	

〈注意事項〉本コースは、昼食代が自己負担です。（1,500円～2,000円を予定）

兵庫県立美術館：世界的建築家の安藤忠雄の設計により建築された同館は、阪神・淡路大震災の復興のシンボルとして開館。西日本最大級の規模を誇る美術館です。今年5月には安藤忠雄の作品模型等を展示するAndo Galleryが増設オープンします。

山村コレクション展：山村コレクションは、兵庫在住の企業家・山村徳太郎氏が収集し、1987年に兵庫県立美術館に一括収蔵されました。国際的に評価の高い「具体」を含む現代美術の作品群を約20年ぶりに一挙公開します。

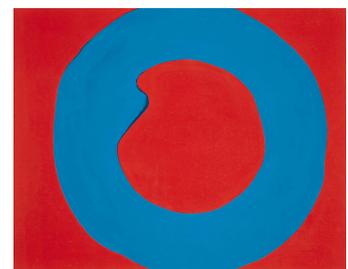
六甲枝垂れ：六甲山の上に立つ一本の大きな樹のような「自然体感展望台 六甲枝垂れ」。六甲山上の陽光や風力といった自然エネルギーを活用し、ほとんど電力を使わない構造となっています。内部に入ると包まれるようなヒノキの優しい香りと、「枝葉」というフレーム越しに降り注ぐ太陽の光を感じられる展望台です。



六甲枝垂れ



兵庫県立美術館（Ando Gallery）



吉原治良《作品》1966年